

イオウS₈の紙の組立台

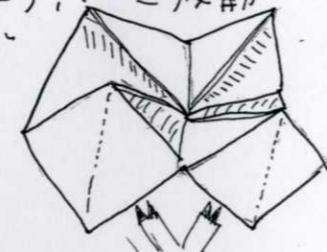
2007年3月28日

山田正男

花崎の会は新しい人が多かたように思いました。会費割引(フリッショ、同僚)の効果があつたのでしょうか。分子模型づくりには田岡道吉さんも参加してくれました。若い女性の人を連れてきてくださいました。田岡さんの娘さんで、4月から小学校の先生になるそうです。分子模型づくりは初めてということでした。水→アルコール→エーテルと教えたので、あとはテキトーリー作ってもらうことにしました。黄色(イオウ)があつたので、二酸化イオウ SO₂を教えたら、「黄(イオウ)と白(水素)はどうつくっていますか?」ときたので、うれしくなりました。最後に立体的なものを練習問題として、出しました。「S(35等球 黄、Φ28ミリ×2面、109.5°でかく)を8つで壊したい。どうすればいいか?」と。

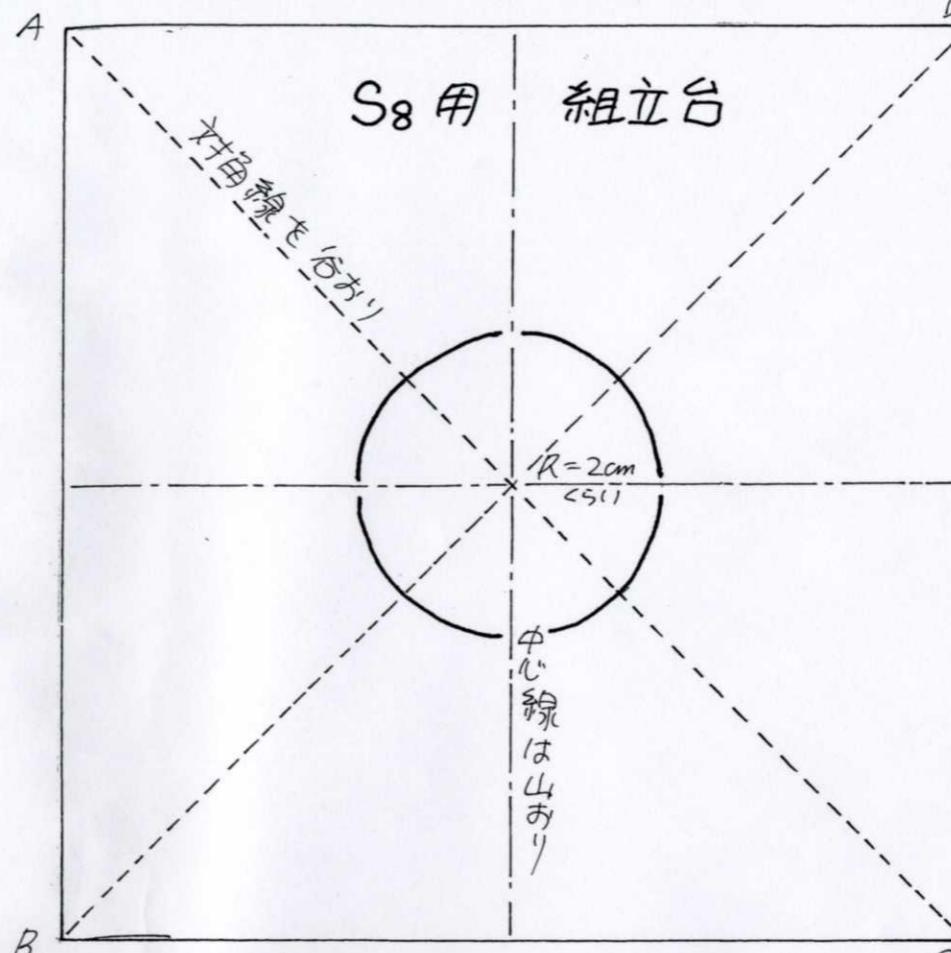
S₈というものは平面的ではないので、2本の手でやるにはむづかしいのです。8本の手があれば、むづかしくはないでしょう。手がふやす代わりに、木の組立台があるのである。そのときは持っていました。急ぎ、孔定規を2本並べて、(長さが合っていないので)ナットが組立てています。

そのとき、「手でにあるもので、カンタンに、S₈の組立台を作りたい」と思ったのです。木の組立台と同じようなものを紙で(円筒4本)作るのです。そんなフクザツなことはたくさんあります。「紙で作るだけではいけない」と気付いたら、(-ミ)が動き始めました。イメージは、子どものとき遊んでこんな折り紙です。このまんまS₈(球)を作ると安定しません。どうすればいいか?



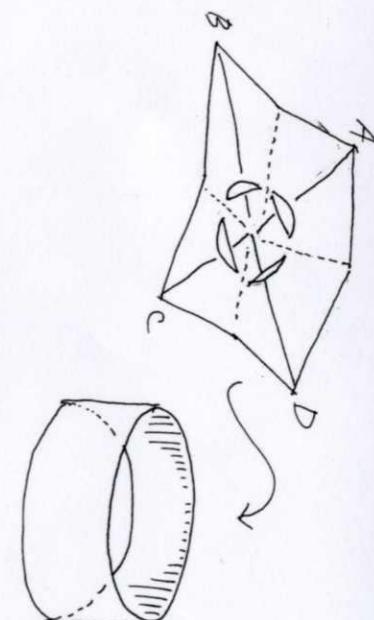
紙はラナシナ、ホワーンといふがよい。

キレイ



1. 用紙は宣伝チラシがいいかと思つたのですが、もと(なつかな方がいい)ので、コピー用紙がいいです。B5なら、 $\frac{1}{3}$ でさく(切り)って円筒を作ります。(セロテープで貼ればいいのですが、無ければキレコミを入れて組みます)これが台です。台があると、両手が使えます。頭が動きます。

2. 正方形を切り(いて)て、上図のように斜めに山折りすると、タタメます。(三角形になるハズです)先、ちゆ(直角の部分)にハサミで切り込みを入れます。円弧で、真ん中はスキ(空き)を開けて、切離(きりはせん)します。
3. ひいて、中に指(さし)つ、つくと、平らになります。
4. これを円筒の台にのせて、完成します。4つのイオウをのせます。そのスキに成りの4つが入ります。



キレイ